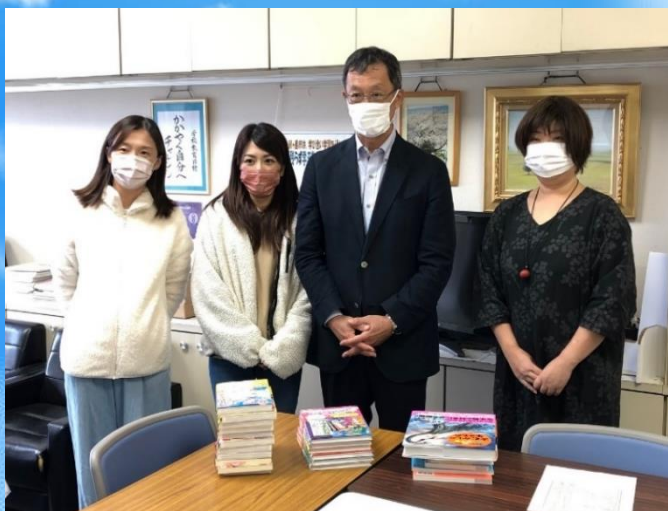


本の寄贈（研修部）

今年度もコロナ禍で人を集めることが難しく、昨年度に引き続き、本の寄贈を行いました。小学校には歴史の偉人の漫画や、生き物についての本を、中学校には文庫本や科学などの本を寄贈しました。新しい本が図書館に増え、子どもたちがとても喜んでくれたとのこと。今年もたくさん本を読んで、世界を広げてもらえたらと思います。



新成人 誓いの言葉



本日は、成人を迎えました私たちのために、このような素晴らしい式典を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや暖かい激励の言葉をいただきましたこと、来賓の方々にご臨席賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

成人式を迎えるにあたり、大学や専門学校に通い勉学に励む者、一足先に社会人として仕事に勤しむ者、それぞれの異なった環境の中、こうして集まりました新成人を代表いたしまして、誓いの言葉を申し上げます。

2020年、新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前だった生活が大きく変化しました。様々な活動に制限がかり、自粛を余儀なくされたことで、大切な友人たちと集まるといったことも難しくなった年でした。

それから2年が経過しようとしている今、本日までの日々を乗り越え、この成人式を無事に迎えられることをとてもうれしく思います。

ここまで来ることができたのは、20年間育ててくれた両親、叱咤激励してくださった先生方、見守ってくださった地域の方々、そして今までの数々の苦楽を共にしてくれた友人たちのおかげです。この場をお借りして、感謝を申し上げます。この20年間、多くの方に支えられながら生きてきました。これからは、私たちが恩返しをする番です。そして、これまで支えてくださった多くの方に感謝の気持ちを忘れず、私たちも同じように誰かを助けることができる大人になれるよう、日々精進いたします。

一人の社会人として生きていくには、まだまだ未熟な私たちではありますが、どうかこれからもご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。最後にになりましたが、鶴ヶ島市出身の成人として恥じることはない、立派な大人になることをここに誓い、新成人誓いの言葉とさせていただきます。

令和四年一月九日

新成人代表 松山琴音

健全育成あいさつ

会長 長島安一

鶴ヶ島市では、中学校区ごと15地区の青少年健全育成推進協議会を設けており、西中学校区は第四地区として活動しています。

この度、健全会長を仰せつかり『健全育成』とは何か？について考える機会をいただきました。辞書等によると、「次代を担う青少年が夢と希望を持って自立と自己実現を図るとともに、社会への貢献を果たすよう、青少年の育成及び青少年を取り巻く環境づくりを進める」とあります。

子ども達により良い人生を送って欲しい。自分の人生を自分のものとして生きていって欲しい。この社会を持続し、より良いものに発展させていって欲しい。等々といった目的は、価値相対化せずに普遍的な価値ある目的として共有したいと思えます。

しかし、「良い」とか「健全な」という言葉を使うときには慎重さが必要でもあります。

その際には、『不易流行』と『無用の用』と言う二つの考えが大切かと思えます。何が不易で何が流行なのか、誰のためを考えたのか、働かかけなのか、人生の経験の中で無価値なことがあり得るのか、等々を考え続けることが我々にとっても有意義であろうと思われまします。地域の皆様からの様々なご意見とご協力をお願い申し上げます。

下写真

左側 誓いの言葉挨拶
松山琴音さん
右側 司会
濱岸 愛輝さん

